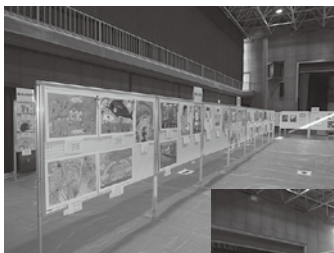


公民館情報

輝く未来展・書き初め大会作品展を開催しました

毎年恒例の両作品展。県緊急事態宣言を受け、各公民館を閉館した期間があったため、例年より遅れての開催となりました。

麻生公民館体育室に展示された力作は計416点。家族連れで見に来てくださった方々も多く、記念写真を撮る姿も見られました。



【問】麻生公民館 ☎0299-72-1573

歌碑や文学活動の足跡を巡る旅 1

若舎人部広足

防人に たたむさわきに 家の妹が
なるべきことを 言はず来ぬかも

万葉集：巻20-4364

歌碑所在地：行方市捻木



「万葉集」は7世紀後半から8世紀後半ごろに編まれた、日本に現存する最古の和歌集です。天皇、貴族から下級官吏、防人に至るまで、さまざまな身分、立場の人が詠んだ歌を4500首以上も集めています。

防人の歌は、万葉集の巻13、14、20に収められていますが、巻20には84首も収録されており、常陸の国の防人の歌からは10首採用されています。その貴重な10首の中に、広足の歌が2首も収録されているのです。遠く故郷や妻を思う心情が、常ながら縷々したためられているからでしょうか。

歌碑は、行方市捻木の若舎人地区にあり、ここを広足の出身地と推定して建てられました。場所は若舎人部館跡と伝えられています。

歌の中での「忙しさの中で、妻に大切なことを伝えなかった」という述懐は、なんとも今に通じる普遍的の思いのように感じられる人情味にあふれた歌ですが、防人や妹の読み方に東国の訛りがそのまま記述された貴重な歌でもあります。

※玉造史叢「玉造町の万葉歌碑」(堤 一郎氏)「万葉集と玉造」(鼓 乙音氏)
「玉造の地から響く万葉防人の歌」(海老沢幸雄氏)等を参考にしています。

【問】生涯学習課文化・社会教育グループ ☎0291-35-2111

はい、こちら行方市消費生活センター！

行政職員をかたった

新型コロナウイルスワクチン接種の詐欺にご注意！！



【事例】

市役所職員を名乗る人物から「高齢者を対象に連絡をしている。新型コロナウイルスワクチンを優先的に接種できるようにする。一度接種料を徴収する必要があるため指定された銀行口座に15,000円を振り込んでほしい。後日、全額返金する」という電話がかかってきた。家に一人でしたので、家族と相談してから折り返し連絡することを伝えるところ、電話を切られてしまった。

【解説】

公的機関等になりすまし、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要としたり、金銭や個人情報をだましとろうとする電話に関する相談が、全国の消費生活センターや警察へ寄せられています。公的機関が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話・メールで求めることはありません！接種を受ける際の費用は全額公費のためワクチン接種は無料です。

新型コロナワクチンの接種に便乗したトラブルや悪質商法には注意が必要です。公的機関の職員を名乗る、行政から委託されたという業者などからの電話や訪問、心当たりのない送信元からのメール・SNSなど、怪しい・おかしいと思うものには反応しないようにしましょう。

何か不審に思うことやトラブルにあってしまった場合は、一人で悩まず、行方市消費生活センターに相談してください。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】行方市消費生活センター ☎0291-34-6446